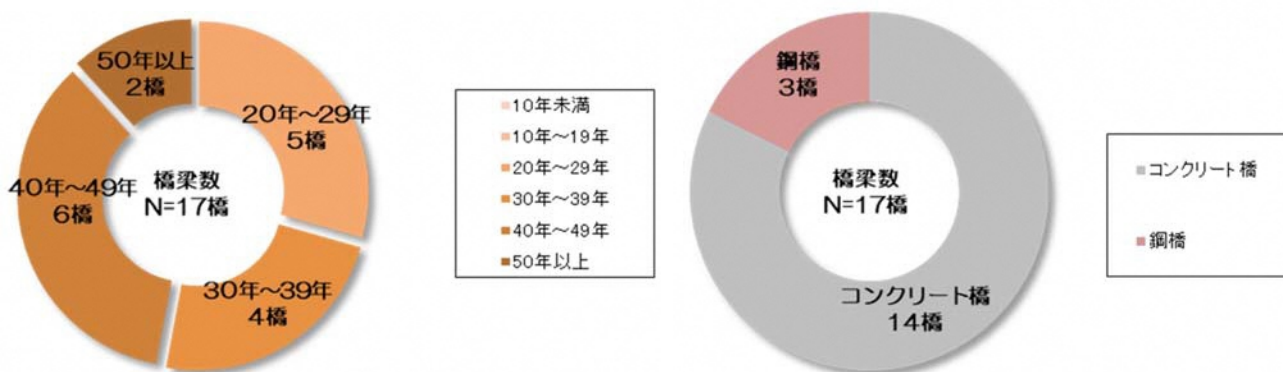


# 令和3年度 佐井村 管理橋梁点検結果

## 1. 点検実施橋梁

令和3年度に橋梁定期点検を実施した橋梁17橋の、橋種別等の集計を図-1、2に示す。

- 1 現在、架設後経過年数50年以上の橋梁は2橋である。
- 2 橋種はコンクリート橋が14橋、鋼橋が3橋である。
- 3 10年後には経過年数50年を超える橋が8橋となる。



架設後経過年数別の割合

構造形式別の割合

図-1 令和3年度点検橋梁の内訳（令和4年3月31日現在）

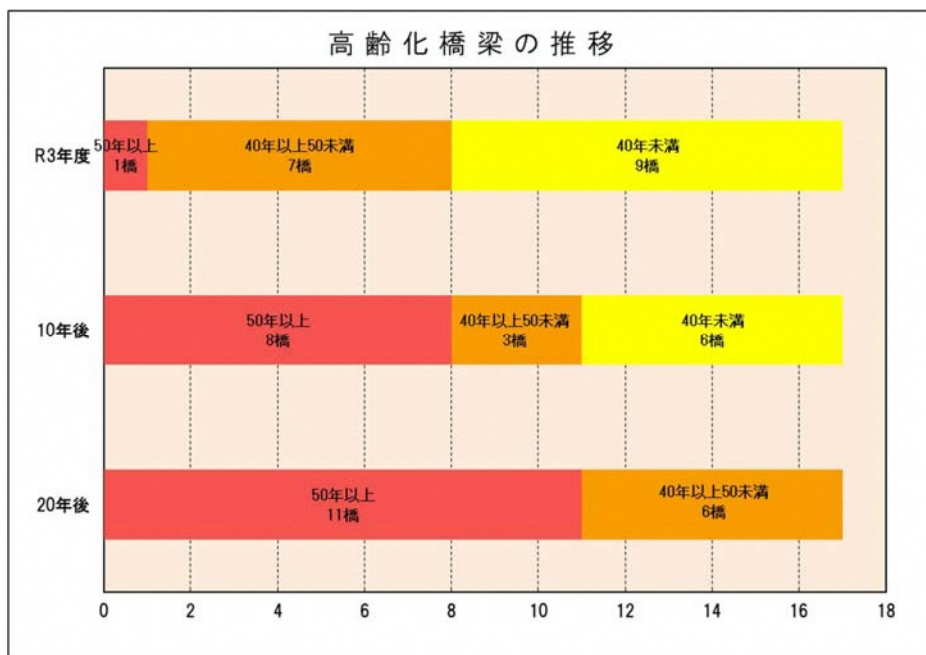


図-2 供用年数の推移

## 2. 損傷状況

令和3年度に点検を実施した鋼橋3橋の損傷については以下の傾向が見られる。

【 鋼橋の場合 (全3橋) 】・・・

- 1 焼山橋は、主要の鋼部材に全体的な発錆、支承に錆が見られた。
- 2 織音橋は、主要の鋼部材に全体的な発錆、沓座モルタルにブロック化した破損が見られた。

### (1) 鋼橋の劣化状況

点検結果による主要部材の健全度をまとめた表及びグラフを以下に示す。

NO.	橋種	橋梁名	径間	部材別健全度						
				健全度	主桁	横桁	床板	下部工	支承	沓座モルタル
1	S	川目橋 ※H24 補修済	1	平均	4.0	3.8	4.0	4.0	4.8	4.5
				最低	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	2.5
2	S	焼山橋 ※補修工事予定(R5予定)	1	平均	3.5	3.5	4.0	4.0	2.9	5.5
				最低	3.0	3.5	4.0	4.0	2.5	5.5
3	S	織音橋 ※補修工事予定(R6予定)	1	平均	3.5	3.8	4.0	4.0	3.3	1.5
				最低	3.5	3.5	4.0	4.0	2.5	1.5

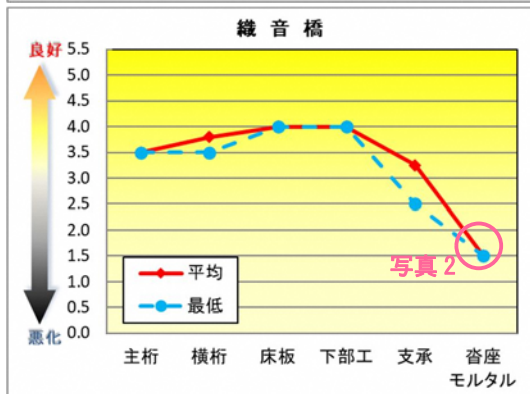
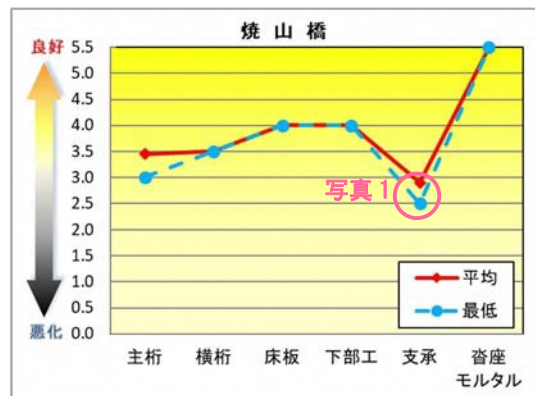
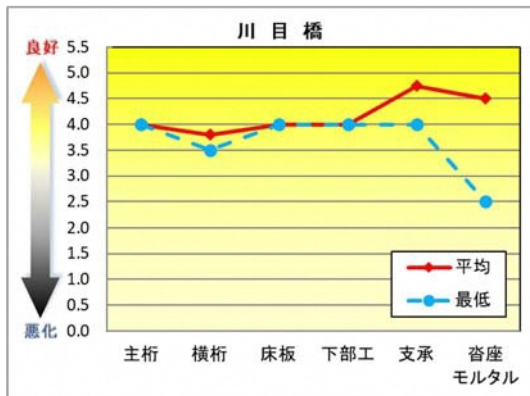


写真1 支承の損傷



写真2 沓座モルタルの損傷

令和3度に点検を実施したコンクリート橋14橋の損傷については以下の傾向が見られる。

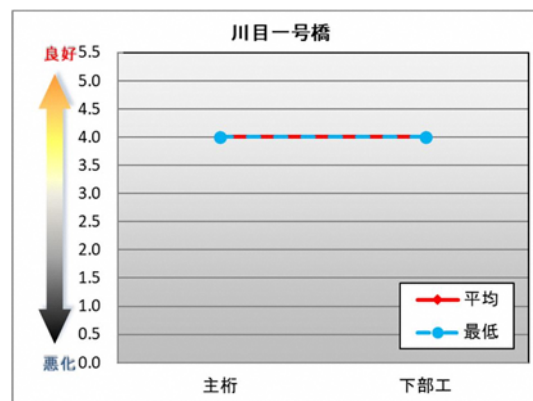
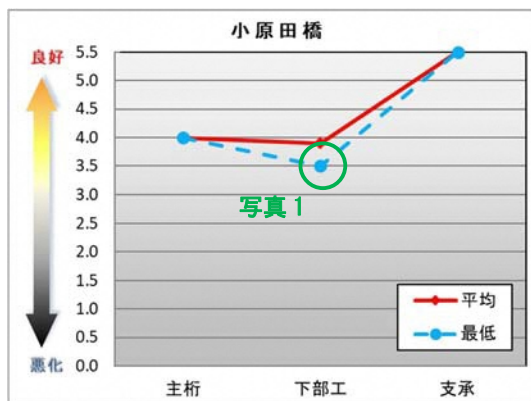
【コンクリート橋の場合（全14橋）】・・・

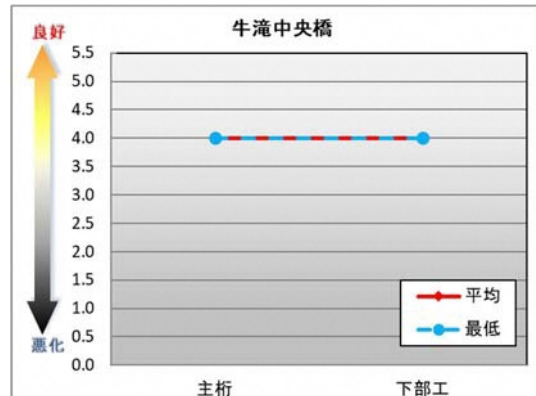
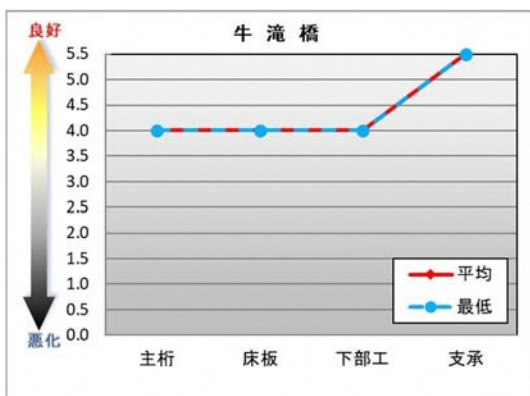
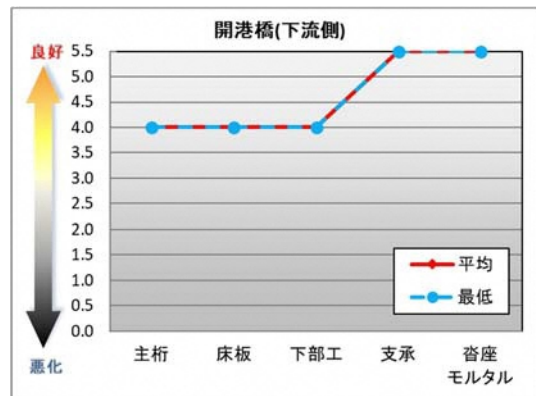
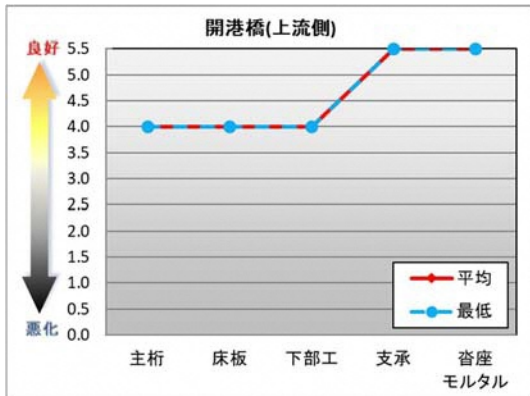
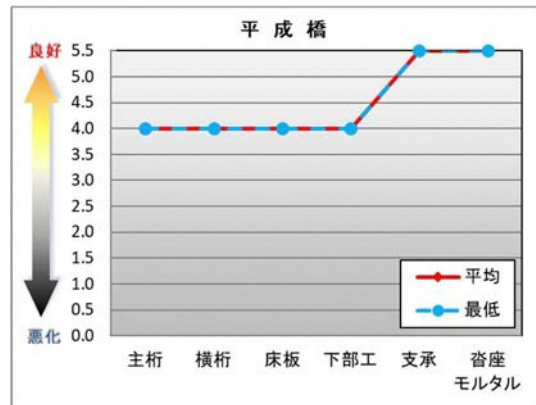
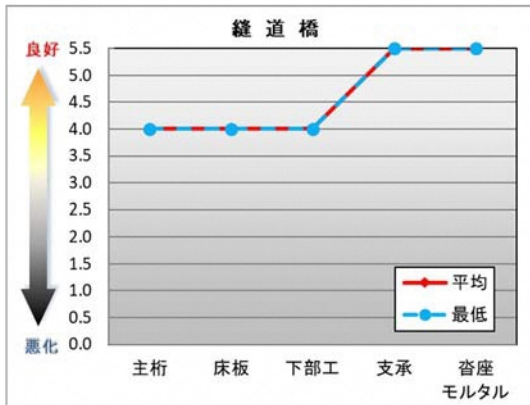
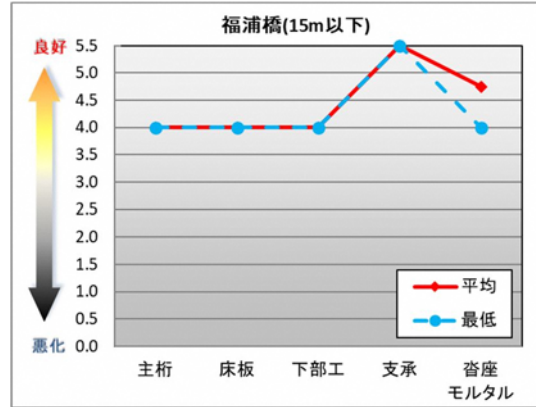
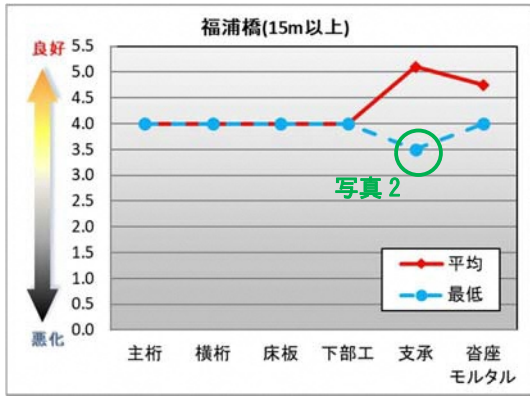
- 1 小原田橋の下部工に破損が見られた。
- 2 福浦橋（15m以上）のゴム支承にひび割れが見られた。

## (2) コンクリート橋の劣化状況

点検結果による主要部材の健全度をまとめた表及びグラフを以下及び次項以降に示す。

NO.	橋種	橋梁名	径間	部材別健全度						
				健全度	主桁	横桁	床板	下部工	支承	沓座 モルタル
1	C	小原田橋 ※補修工事予定(R4予定)	1	平均	4.0	-	-	3.9	5.5	-
				最低	4.0	-	-	3.5	5.5	-
2	C	川目一号橋 ※R2 補修済	1	平均	4.0	-	-	4.0	-	-
				最低	4.0	-	-	4.0	-	-
3	C	福浦橋(15m以上) ※H25 補修済	1	平均	4.0	4.0	4.0	4.0	5.1	4.8
				最低	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0
4	C	福浦橋(15m以下) ※H26 補修済	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	4.8
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	4.0
5	C	縫道橋 ※H28 補修済	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
6	C	平成橋 ※H29 補修済	1	平均	4.0	4.0	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	4.0	4.0	4.0	5.5	5.5
7	C	開港橋(上流側) ※R3 補修済	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
8	C	開港橋(下流側) ※R3 上部工更新済	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
9	C	牛滝橋	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	-
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	-
10	C	牛滝中央橋 ※H30 補修済	1	平均	4.0	-	-	4.0	-	-
				最低	4.0	-	-	4.0	-	-
11	C	二叉橋	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
12	C	長後橋 ※R1 上部工更新済	1	平均	5.5	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	5.5	-	4.0	4.0	5.5	5.5
13	C	道中橋 ※H27 補修済	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
14	C	新生橋	1	平均	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5
				最低	4.0	-	4.0	4.0	5.5	5.5





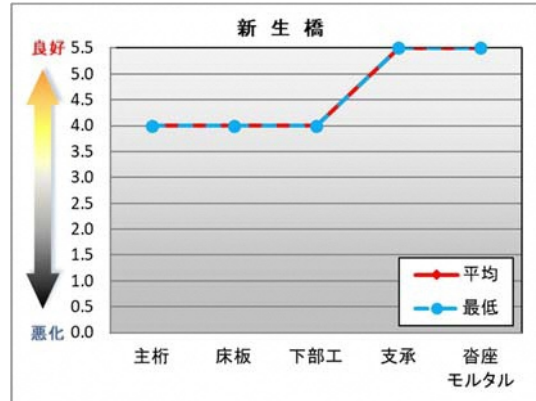
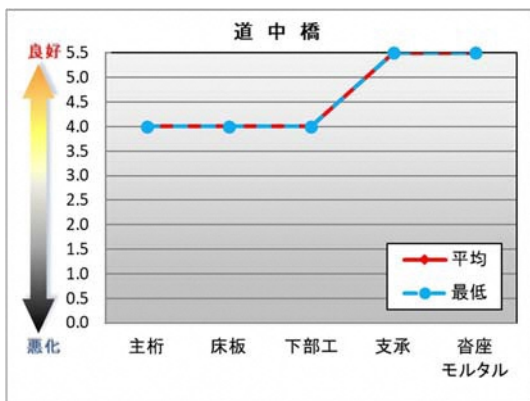
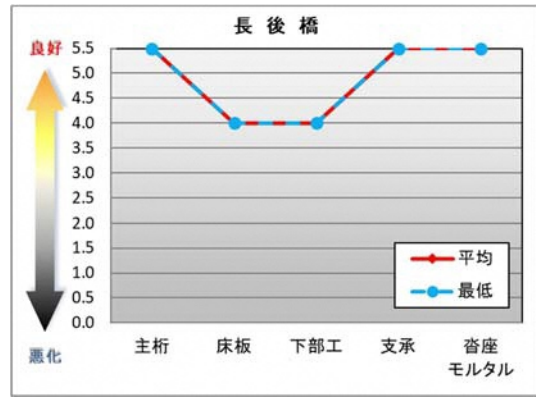
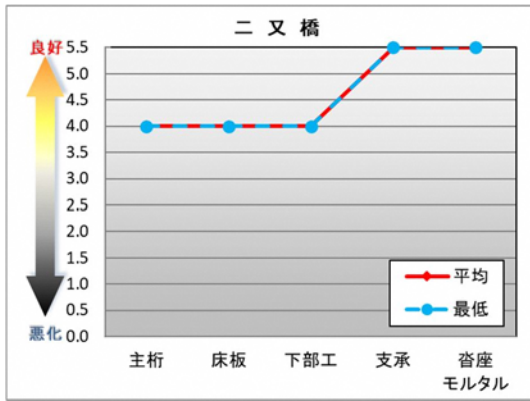


写真1 下部工の損傷



写真2 支承の損傷

(3) その他部材の劣化状況

点検の結果、その他部材についての進行した劣化状況については以下の通りである。

- 1 小原田橋・・・ガードレールに腐食が見られる。(写真-1)
- 2 川目橋・・・伸縮装置地覆部のシール材にはくりが見られる。(写真-2)
- 3 牛滝橋・・・排水ますに土砂詰まりが見られる。(写真-3)
- 4 牛滝中央橋・・・添架管の支持金具に発錆が見られる。(写真-4)



写真1 ガードレールの損傷



写真2 伸縮装置(地覆部)の損傷



写真3 排水ますの損傷



写真4 添架管の損傷

### 3. 健全度の診断

佐井村管轄橋梁全 17 橋における令和 3 年度の健全度の判定結果を下表に示す。

表-1 健全度診断

橋梁名(フリガナ)		路線名	架設年次 (西暦)	修繕等年次 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	点検 記録	点検年次 (西暦)
小原田橋 ※補修工事予定(R4予定)	コハラダバシ	原田臨港線	昭和53年度 (1978年)	-	5.0	7.0	Ⅱ	令和3年度 (2021)
川目橋	カワメバシ	川磯線	昭和52年度 (1977年)	平成25年度 (2013年)	21.5	5.0	Ⅰ	令和3年度 (2021)
川目一号橋	カワメ イチゴウキョウ	川磯線	昭和43年度 (1968年)	令和2年度 (2020年)	4.6	5.1	Ⅰ	令和3年度 (2021)
福浦橋(15m以上)	フクウラバシ	福浦川目線	昭和56年度 (1981年)	平成25年度 (2013年)	19.7	7.5	Ⅰ	令和3年度 (2021)
福浦橋(15m以下)	フクウラバシ	福浦川目線	平成5年度 (1993年)	平成26年度 (2014年)	12.7	8.3	Ⅰ	令和3年度 (2021)
縫道橋	ヌイドウバシ	福浦川目線	平成5年度 (1993年)	平成28年度 (2016年)	17.7	8.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)
平成橋	ヘイセイバシ	牛滝線	平成元年度 (1989年)	平成29年度 (2017年)	15.7	7.4	Ⅰ	令和3年度 (2021)
開港橋(上流側)	カイコウバシ	牛滝線	平成9年度 (1997年)	令和3年度 (2021年)	16.7	3.0	Ⅰ	令和3年度 (2021)
開港橋(下流側)	カイコウバシ	牛滝線	昭和53年度 (1978年)	令和3年度 (2021年)	16.7	5.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)
牛滝橋	ウシタキバシ	牛滝線	平成10年度 (1998年)	-	14.3	8.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)
牛滝中央橋	ウシタキ チュウオウバシ	牛滝線	昭和53年度 (1978年)	平成30年度 (2018年)	3.4	7.7	Ⅰ	令和3年度 (2021)
焼山橋 ※補修工事予定(R5予定)	ヤケヤマバシ	古佐井焼山線	昭和52年度 (1977年)	-	47.2	5.0	Ⅲ	令和3年度 (2021)
二又橋	フタマタバシ	古佐井焼山線	平成12年度 (2000年)	-	15.9	6.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)
織音橋 ※補修工事予定(R6予定)	オリネバシ	古佐井焼山線	平成元年度 (1989年)	-	16.2	5.0	Ⅲ	令和3年度 (2021)
長後橋	チョウゴバシ	長後川線	昭和47年度 (1972年)	令和2年度 (2020年)	10.2	6.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)
道中橋	ドウチュウバシ	沼ノ平線	平成4年度 (1992年)	平成27年度 (2015年)	17.7	8.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)
新生橋	シンセイバシ	野平線	平成3年度 (1991年)	-	12.0	5.2	Ⅰ	令和3年度 (2021)

#### 点検記録

区 分		状 態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態